

COMPASS 発達支援センター熊本東

令和5年度

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1		7	国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。	
	2		7	法令基準を満たした配置であり、児童の支援に必要な専門性を有する資格者により支援をおこなっております。	
	3		7	利用児童の特性に応じた視覚支援や発達に応じた環境設定に努め、定期的に見直しをおこなっております。また、構造的に段差は少なく、おおむねバリアフリーになっております。	
業務改善	4		7	職員会議は全員参加するように努め、課題の把握・目標の設定・改善策について話し合っております。	
	5		7	アンケート実施後、保護者様からいただいたご意見を速やかに全職員で共有し、業務改善に努めております。	
	6		7	COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	
	7		7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	8		7	事業所内では本社配信の動画による社内研修に全職員が参加し、資質向上に努めております。	
	9		7	アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	
	10		7	児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	
	11		7	活動プログラムの立案をチームで行っている。	
	12		7	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	
	13		7	平日と長期休暇それぞれに応じたスケジュールを組み立てております。平日は時間が限られた屋内での座学中心の療育ですが、長期休暇や休日には屋外での活動も取り入れ、児童が楽しみながら学べるように工夫するなど、きめ細やかな課題設定をしております。	
	14		7	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している。	
	15		7	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	
	16		7	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	
	17		7	日々の支援に關して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	
18		7	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している。		
関係機関や保護者様との連携	19		7	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている。	
	20		7	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	
	21		7	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	
	22		7	医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、児童の主治医等と連絡体制を整えている。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23		7	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	
	24		7	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している。	
	25		7	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	
	26		7	放課後児童クラブや児童館との交流など外部との活動する機会がある。	今後は保護者様のご意向をうかがいながら、近隣の関係機関などとの交流を検討してまいります。
	27		7	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。	今後開催される場合は、積極的に参加してまいります。
	28		7	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っている。	
保護者様への説明責任等	29		7	保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている。	
	30		7	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	
	31		7	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	
	32		7	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している。	今後は保護者様のご意向をうかがいながら、開催を検討してまいります。
	33		7	児童や保護者様からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	
	34		7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している。	
	35		7	個人情報の取扱いに十分注意している。	
	36		7	障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	
	37		7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	今後は保護者様のご意向をうかがいながら、地域への働きかけを検討してまいります。
	38		7	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	
非常時等の対応	39		7	非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っている。	
	40		7	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	
	41		7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	
	42		7	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている。	
	43		7	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。